

令和5年12月20日(水)
愛知環状鉄道株式会社

旅客運賃改定認可申請について

愛知環状鉄道株式会社(代表取締役社長:平田雅也)は、令和7年春(予定)の実施に向けて、本日12月20日付で国土交通省中部運輸局長に鉄道事業の旅客運賃の改定に関する認可申請を行いました。申請理由、概要等は下記のとおりです。

記

1 申請の理由

当社は日本国有鉄道(以下「国鉄」という。)により経営されていた岡多線(岡崎～新豊田間)と、日本鉄道建設公団により建設が進められていた岡多線・瀬戸線(新豊田～高蔵寺間)をルーツに、愛知県と沿線4市(岡崎市、瀬戸市、春日井市及び豊田市)が中心となって設立した第三セクター方式による鉄道会社であり、昭和63年1月に開業いたしました。

開業以降、愛知万博の主要アクセスルートや、地域の自動車からの通勤転換施策を支える役割を担い、線路の複線化、新型車両の導入などにより輸送力を増強し、また、全国相互利用可能なICカード(TOICA)を導入し、お客様の利便性を大幅に向上させてまいりました。列車本数は、開業時の一日あたり72本から172本となり、令和元年度の輸送人員は、1,883万人で開業当初のおよそ4倍となるなど、国・自治体や企業、地域の皆様などのご支援を得て、地域の経済・社会活動を支える公共交通機関としての役割を着実に担ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大が契機となり、当社の経営環境は大きく変化いたしました。同症の5類感染症移行後の現在においてもテレワークの定着などによる通勤利用者の減少により輸送需要の回復が低調であり、さらには少子高齢化による生産年齢人口の減少、自動車利用の多い地域特性もあり、輸送人員はコロナ前の水準に戻らないことが見込まれます。こうした状況に加え、電気料金の高止まり、資材価格等の高騰による経費増加の懸念もあり、今後も厳しい経営状況が継続する見込みです。

このような中で、国鉄時代に整備された線路設備、電気設備等の老朽化対策が急務であることに加え、開業以来、増強してまいりました設備の維持、更新に多額の費用が見込まれます。これに加え、社会環境の変化に合わせた投資や、激甚化する自然災害に備えた投資を行うことが求められております。

当社は今後も、安全を最優先したうえで、業務の効率化及び経費の削減などを引き続き実施いたしますが、現行運賃において企業努力だけで鉄道事業を安定して継続してい

くことは難しく、安全かつ快適な輸送サービスを提供し続けるため、この度、消費税による運賃変更を除き、開業以来初めてとなる運賃改定の申請をさせていただきました。ご利用のお客様には何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2 申請の概要

(1) 改定時期 令和7年春（予定）

(2) 改定内容

① 改定率・増収率

| | 定期外 | 定期 | | | 合計 |
|-----|-------|-------|------|-------|-------|
| | | 通勤 | 通学 | 計 | |
| 改定率 | 16.4% | 15.1% | 5.0% | 11.2% | 14.3% |
| 増収率 | 15.2% | 13.9% | 4.0% | 10.1% | 13.2% |

※ 定期については定期外に比べて改定率を抑えており、特に通学定期については通勤定期のおよそ3分の1の改定率に抑えております。

② 旅客運賃 申請・現行比較表

○普通旅客運賃（大人）

| 営業キロ | 現行運賃（円） | 申請運賃（円） | 運賃差（円） |
|-------|---------|---------|--------|
| 1～3 | 180 | 210 | 30 |
| 4～6 | 230 | 270 | 40 |
| 7～9 | 280 | 330 | 50 |
| 10～12 | 340 | 400 | 60 |
| 13～15 | 400 | 460 | 60 |
| 16～18 | 450 | 520 | 70 |
| 19～21 | 510 | 590 | 80 |
| 22～25 | 570 | 660 | 90 |
| 26～29 | 620 | 720 | 100 |
| 30～33 | 670 | 770 | 100 |
| 34～37 | 730 | 830 | 100 |
| 38～41 | 790 | 890 | 100 |
| 42～45 | 840 | 940 | 100 |
| 46 | 890 | 990 | 100 |

※ 25キロを超える営業キロの運賃に関しては100円の加算に止めております。

○通勤定期旅客運賃（大人1箇月）

| 営業キロ | 現行運賃（円） | 申請運賃（円） | 運賃差（円） |
|-------|---------|---------|--------|
| 1～3 | 7,270 | 8,370 | 1,100 |
| 4～6 | 9,840 | 11,320 | 1,480 |
| 7～9 | 11,980 | 13,780 | 1,800 |
| 10～12 | 14,120 | 16,240 | 2,120 |
| 13～15 | 16,680 | 19,190 | 2,510 |
| 16～18 | 18,820 | 21,650 | 2,830 |
| 19～21 | 21,390 | 24,600 | 3,210 |
| 22～25 | 23,380 | 26,890 | 3,510 |
| 26～29 | 25,360 | 29,170 | 3,810 |
| 30～33 | 27,350 | 31,180 | 3,830 |
| 34～37 | 29,730 | 33,600 | 3,870 |
| 38～41 | 32,110 | 35,970 | 3,860 |
| 42～45 | 34,100 | 37,860 | 3,760 |
| 46 | 36,090 | 40,060 | 3,970 |

○通学定期旅客運賃（大人1箇月）

| 営業キロ | 現行運賃（円） | 申請運賃（円） | 運賃差（円） |
|-------|---------|---------|--------|
| 1～3 | 4,680 | 4,920 | 240 |
| 4～6 | 6,330 | 6,650 | 320 |
| 7～9 | 7,700 | 8,090 | 390 |
| 10～12 | 9,080 | 9,540 | 460 |
| 13～15 | 10,730 | 11,270 | 540 |
| 16～18 | 12,100 | 12,710 | 610 |
| 19～21 | 13,750 | 14,440 | 690 |
| 22～25 | 14,970 | 15,720 | 750 |
| 26～29 | 16,190 | 17,000 | 810 |
| 30～33 | 17,420 | 18,300 | 880 |
| 34～37 | 18,880 | 19,830 | 950 |
| 38～41 | 20,350 | 21,370 | 1,020 |
| 42～45 | 21,570 | 22,650 | 1,080 |
| 46 | 22,790 | 23,930 | 1,140 |

3 鉄道部門収支の実績及び推定 (単位:千円)

| | 令和4年度 (実績) | 令和7～9年度(平年度3年間合計) | |
|--------|---------------|-------------------|------------|
| | | 現行 | 申請 |
| 収入 | 3,808,017 | 12,183,576 | 13,615,756 |
| 支出 | 4,001,245 | 13,642,545 | 13,642,545 |
| 差引損益 | ▲193,227 | ▲1,458,969 | ▲26,789 |
| 収支率(%) | 95.2% | 89.3% | 99.8% |

4 運賃収入内訳 (単位:千円)

| | 令和4年度 (実績) | 令和7～9年度(平年度3年間合計) | |
|-----|---------------|-------------------|------------|
| | | 現行 | 申請 |
| 定期外 | 1,947,461 | 6,584,591 | 7,585,636 |
| 定期 | 1,416,971 | 4,279,417 | 4,710,552 |
| 合計 | 3,364,432 | 10,864,008 | 12,296,188 |

5 需要見通し (単位:千人)

| | 令和4年度 (実績) | 令和5年度 (推定) | 令和6年度 (推定) | 令和7年度 (推定) | 令和8年度 (推定) | 令和9年度 (推定) |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 定期外 | 6,433 | 7,170 | 7,318 | 7,246 | 7,237 | 7,229 |
| 定期 | 8,431 | 8,666 | 8,608 | 8,473 | 8,416 | 8,358 |
| 合計 | 14,864 | 15,837 | 15,926 | 15,720 | 15,654 | 15,587 |
| 前年比(%) | 108.6% | 106.5% | 100.5% | 98.7% | 99.5% | 99.5% |

6 設備投資の実績・計画

(1) 設備投資実績・計画 (単位:百万円)

| | 令和4年度 (実績) | 令和5年度 (計画) | 令和6年度 (計画) | 令和7年度 (計画) | 令和8年度 (計画) | 令和9年度 (計画) |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 安全対策 | 890 | 446 | 1,024 | 741 | 702 | 227 |
| サービス改善 | 61 | 125 | 380 | 35 | 34 | 920 |
| 合計 | 951 | 571 | 1,405 | 777 | 737 | 1,147 |

(2) 主な投資計画の内容

変電所の更新、連動装置等の信号機器の設備更新、車両の電子機器更新、駅の耐震補強及び盛土部のコンクリートでの補強等を適切に実施することで、安全・安定輸送を確保してまいります。また、お客様が安全に快適にご利用いただけるよう、駅のバリアフリー化を始めとした環境整備に努めてまいります。

① 安全対策

- ・猿投変電所及び山口変電所の更新
- ・中岡崎駅・北岡崎駅連動装置更新
- ・列車集中制御装置（CTC）及び自動進路制御装置（PRC）更新
- ・車両の電子機器更新
- ・岡崎駅ホーム屋根の耐震補強
- ・北野柵塚駅～三河上郷駅間のり面固定工事
- ・電気指令設備更新
- ・非常通報装置（ホームの非常停止ボタン）の整備
- ・列車接近表示機（列車接近時に音や文字情報で注意喚起）の整備

② サービス改善

- ・ICカードシステム対応機器の更新
- ・沿線市との連携によるエレベーターや多機能トイレの整備
- ・案内用図記号（ピクトグラム）の整備
- ・駅トイレの洋式化等のリニューアル

7 これまでの経営合理化と今後の取組

新型コロナウイルス感染症拡大以降の経営環境の大きな変化を受け、経費削減のため、設備更新及び修繕費は施工時期・数量の精査や効率的な施工による経費の最小化、人件費は組織・業務体制や給与制度の見直し等による抑制、その他経費全般にわたる見直しに取り組んでまいりました。また、営業収入向上のため、県や沿線市と連携した利用促進、シニア向け乗車券を始め各種企画きっぷの販売、車両撮影会等の有料イベントの実施などに取り組んでまいりました。

今後も、中期経営計画（令和4年度～令和8年度）に基づき、経費削減や営業収入向上に努めてまいります。

8 運賃多様化の取組

お客様にお得で便利なフリーきっぷや、沿線市と連携した観光推進の取組としての企画きっぷ等を販売しており、今後もお客様のニーズや沿線市の観光推進に合わせて運賃多様化に取り組んでまいります。

- ・「土日に乗ろうのりのり 1day パス」

主に土日に使用できる1日フリー乗車券

（提示により沿線観光施設の割引特典あり。キャッシュレス決済として、スマートフォンによるMaasアプリ「my route」及び「CentX」、並びに電子乗車券アプリ「RYDE PASS」でも販売）

- ・「いきいきシニア 70 グループ切符」

満70歳以上で構成する2名様以上のグループを対象とした1日フリー乗車券

- ・「大河ドラマ館セット岡崎市内フリー往復きっぷ」
大河ドラマ館入場券引換券と、主要駅 5 駅からの往復乗車券に岡崎市内の 6 駅乗り降り自由な区間を加えた乗車券
- ・「学期定期券」
主に高校生のお客様を対象とした、学期ごとの有効期間を定めた通学定期券

9 サービス向上策

これまでの輸送力増強による概ね 1 時間 4 本ダイヤや、IC カード導入などにより、お客様の利便性向上やサービス向上に努めてまいりました。今後も可能な限り現行ダイヤを継続（あさシャトル列車の運行を含む）するとともに、IC カードシステム対応機器の更新を適切に行ってまいります。

こうした取組のほか、今後、次に示す取組により、さらなるお客様の利便性やサービス向上に努めてまいります。

- ・お客様の安全確保の推進
駅ホームへの非常通報装置（非常停止ボタン）の整備を進め、ホームから線路への転落事故発生時のお客様の安全確保を図ってまいります。
- ・バリアフリーの推進
沿線市との連携によりエレベーター及び多機能トイレの整備を進めてまいります。
また、列車接近表示機（列車接近時に音や文字情報で注意喚起）の整備及び案内用図記号（ピクトグラム）の整備、並びにサービス介助士の養成を進め、より多くの方にご利用しやすい環境整備を実施してまいります。
- ・駅トイレリニューアルの推進
老朽化の進んでいる駅トイレの洋式化等のリニューアルを行い、より快適に駅をご利用いただける環境整備を実施してまいります。
- ・こどもファスト・トラックの推進
こども連れや妊娠されているお客様に対して、エレベーター（設置駅）の優先利用を促す取組などを実施してまいります。

10 お問い合わせについて

総務部総務人事課

電話番号 0565-33-2931

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝・年末年始を除く）

以上